

S&P500の構成銘柄は米国を代表する企業が厳選されている

S&P500種指数を構成する企業は、業績などの厳格な基準をもとに3ヵ月ごとに見直しの対象となります。1990年末と2024年10月の構成銘柄の上位10社を比較すると、エネルギーや消費関連企業から、情報技術や通信などテクノロジー関連企業へと構成が変化しており、時代の大きな変化とともに、その変化に指数が対応していることがうかがえます。

1990年

企業	業種
IBM	情報技術
エクソンモービル	エネルギー
ゼネラル・エレクトリック (GE)	資本財
アルトリア・グループ	生活必需品
ロイヤル・ダッチ・シェル	エネルギー
プリストルマイヤーズ・スクイブ	ヘルスケア
メルク	ヘルスケア
ウォルマート	一般消費財
AT&T	通信
コカ・コーラ	生活必需品



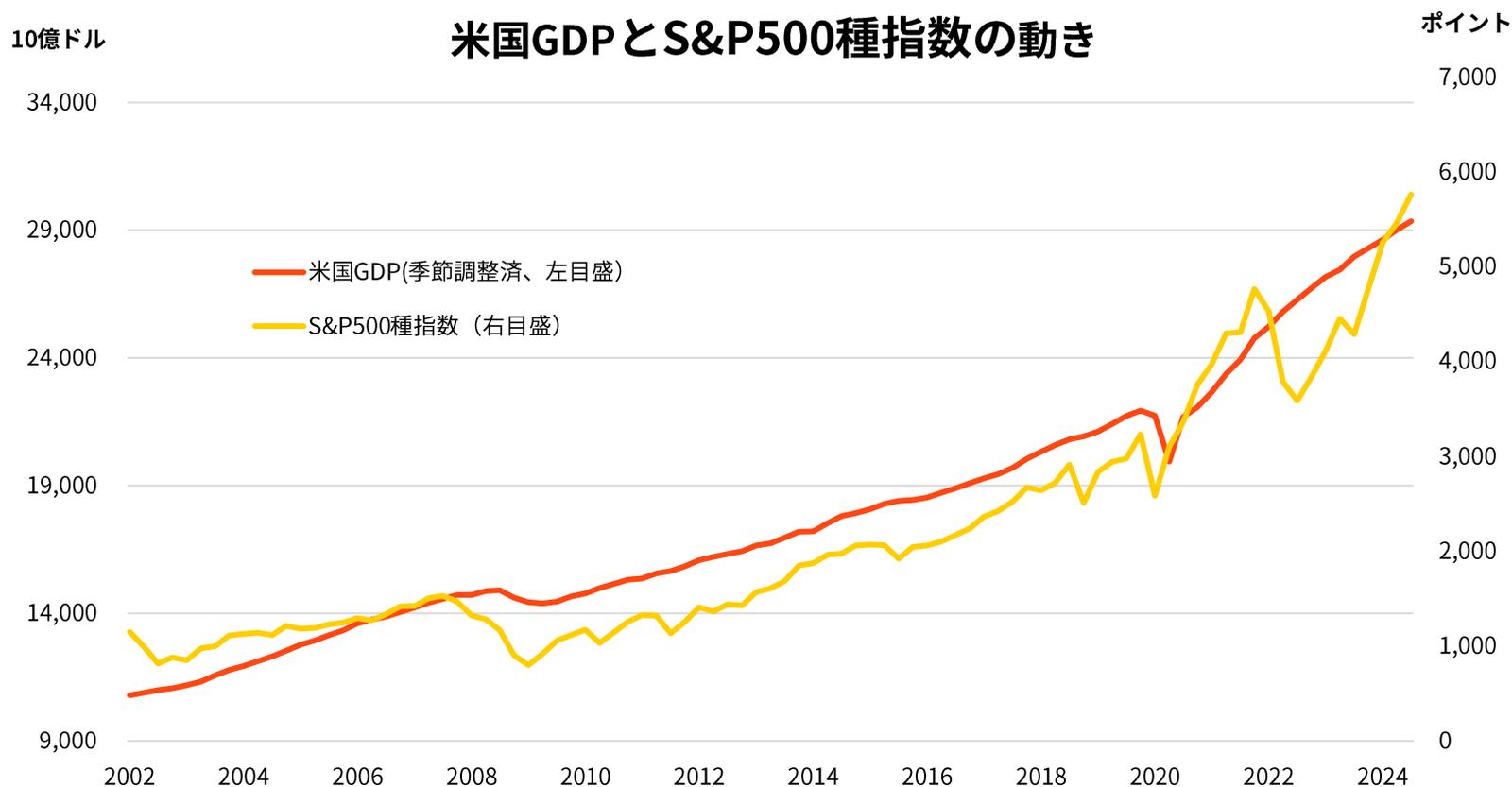
2024年

企業	業種
アップル	情報技術
エヌビディア	情報技術
マイクロソフト	情報技術
アマゾン・ドット・コム	一般消費財
メタ・プラットフォームズ	通信
アルファベット	通信
アルファベット	通信
バンクシャー・ハサウェイ	金融
ブロードコム	情報技術
テスラ	一般消費財

※アルファベットはGoogleの持株会社。議決権の有無により、AクラスとCクラスにわかれている。

米国の経済力と株価の動き

株式市場は、長期的にみると経済成長を背景とする企業業績をおおむね反映した動きとなる傾向があり、米国経済が成長する中で米国の株価も堅調に推移しています。



(出所) ブルームバーグ。2024年10月時点。2002年3月～2024年10月

S&P500種指数のパフォーマンス比較

米国のS&P500種指数は長期的に優れたパフォーマンスを記録しています。

米国、ドイツ、日本の代表的な株価指数の推移



(出所) ブルームバーグ、1993年10月～2024年10月末。1993年10月末の水準を100とし指数化したもの。

※過去の実績であり、将来の成果を予測するものではありません。また、指数に直接投資することはできず、投資する場合にはコストがかかります。